

令和3年度 知立市の学校教育に関する保護者アンケート結果

◆調査の概要

- ・対象 市内7小学校5年生・3中学校2年生の全保護者
- ・時期 令和3年11月～12月
- ・回答 調査対象数1262（小643 中619） 有効回答数876（小500 中376） 有効回答率69.4%

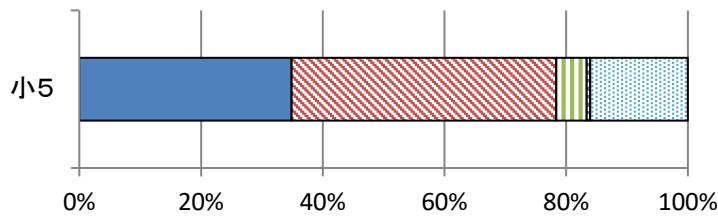
◆調査の結果(次のパターンで分けています) ※無回答数は、回答数より差し引いています。



Q1. 知立市で取り組んでいる次の施策についてどの程度知っていますか(満足していますか)。

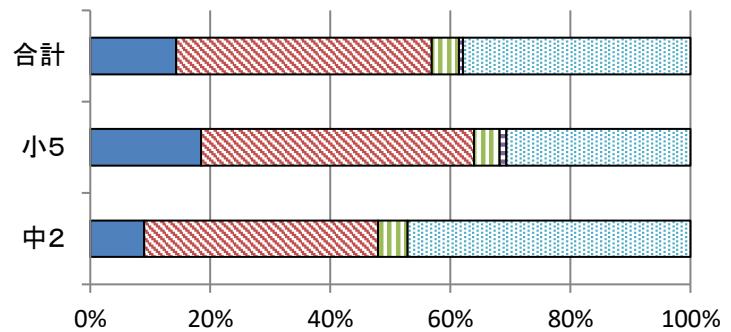
(1) 小学校6年生までの35人以下学級の実施

※ 知立市独自で小学4～6年生で35人以下学級



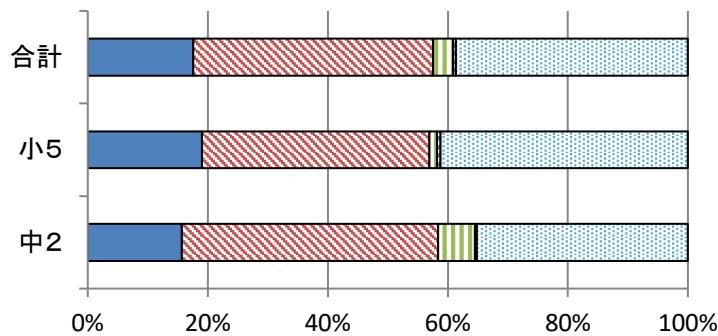
(2) 人的支援の実施

※ 「子どもサポート教員」、「心の相談員」、「発達障害児等支援補助員」、「英語活動・外国語における外国人講師」、「学校図書推進員」



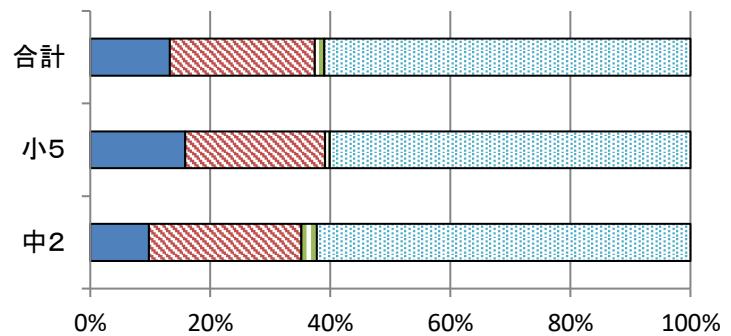
(3) むすびあい教室

※ 不登校児童生徒学校生活に復帰できるための教室の運営



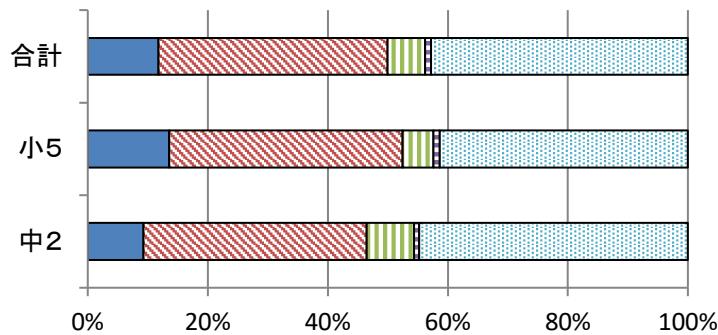
(4) 杜若教室

※ 海外から来たばかりの外国人児童生徒に対して基本的な日本語指導や日本の学校生活に順応できるための教室



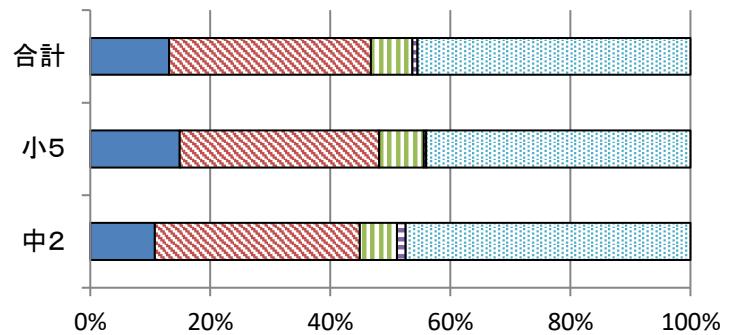
(5) 魅力ある学校設計事業

※ 体験活動や伝統文化を学習する際のゲストティーチャーや高校見学会など、各学校による特色ある取組



(6) GIGAスクール構想の推進

※ ICT機器を活用した授業等、タブレット端末の貸し出し



◆ 「小学校における少人数学級の実施」、「子どもサポート教員や発達障害児等支援員の配置」など、知立市の人的配置に関する施策について、全体的に高い評価でした。また、「むすびあい教室の設置」についても、「大変満足」「やや満足」が全体の60%程度を占め、多くの方に認知されていることが分かりました。今後も、現在の取組を継続、拡充を図り、知立市の子どもたち一人一人に寄り添った支援、教育活動の実施を目指していきます。

◆ しかし、「杜若教室の設置」について、「知らない」と答えた回答率が60%程度あり、知立市の外国籍児童に対する支援があまり認知されていないものもありました。今後、知立市の取組についてわかりやすく発信していく必要があることが分かりました。

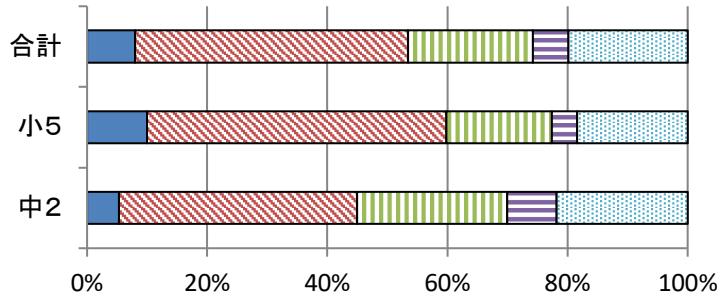
◆ 「GIGAスクール構想」については、始まったばかりですが、「大変満足」、「やや満足」がおおよそ半数でした。今後、今まで以上にタブレット端末を利用した授業、家庭へ持ち帰っての学習など、タブレット端末等ICT機器を活用した教育活動を推進していきます。

◆調査の結果(次のパターンで分けています) ※無回答数は、回答数より差し引いています。

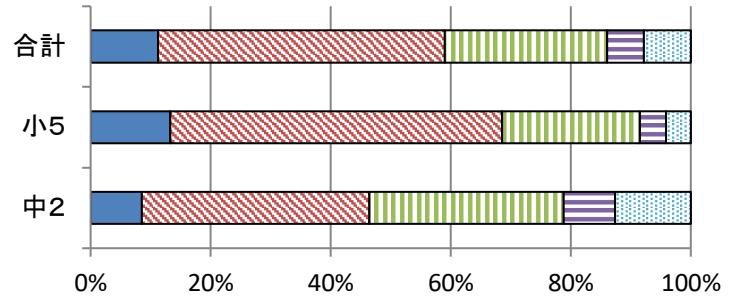


Q2. 知立市学校教育に関して、どの程度満足していますか。

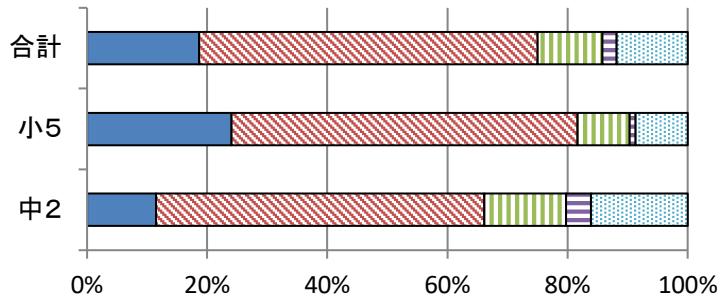
(1) 学力水準



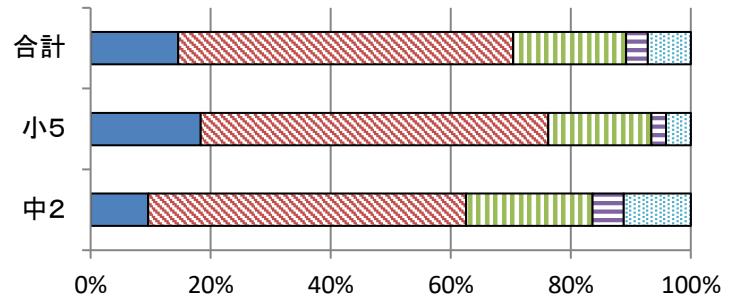
(2) 宿題・課題の内容、量



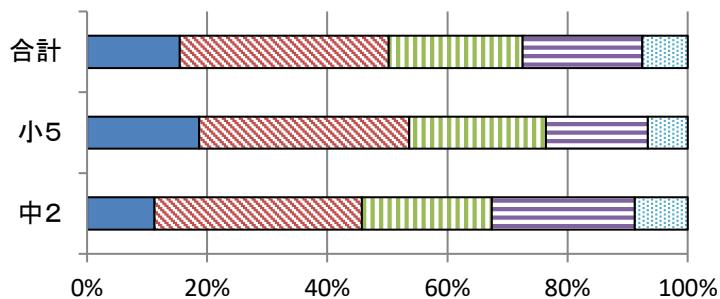
(3) 思いやりの心や豊かな心の育成、命の教育への取組



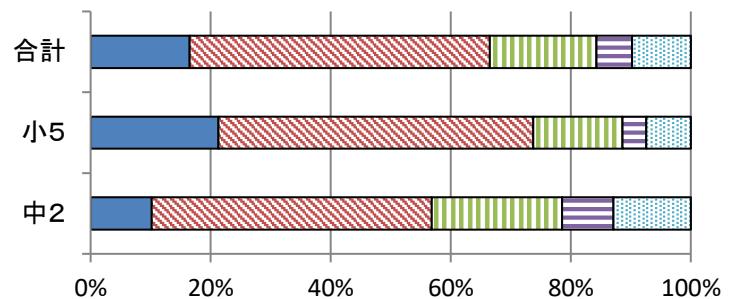
(4) 体力づくり・健康への取組



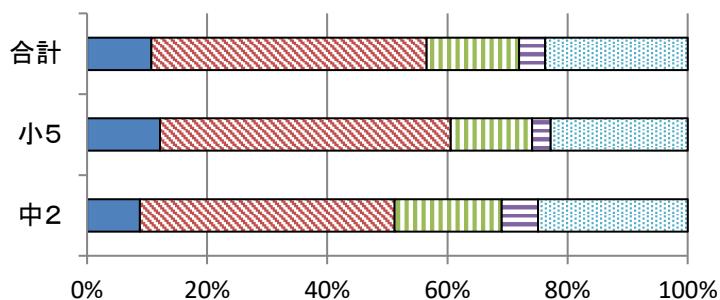
(5) 学校2学期制の実施



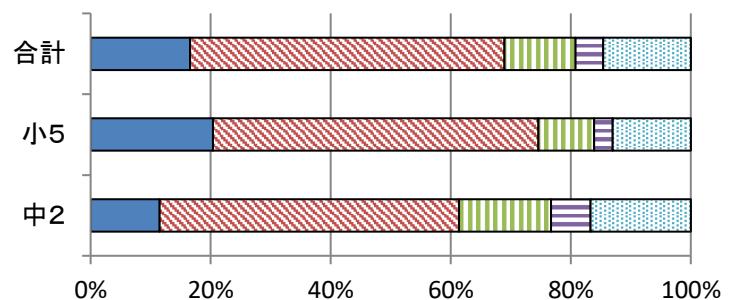
(6) 教員の資質・指導力



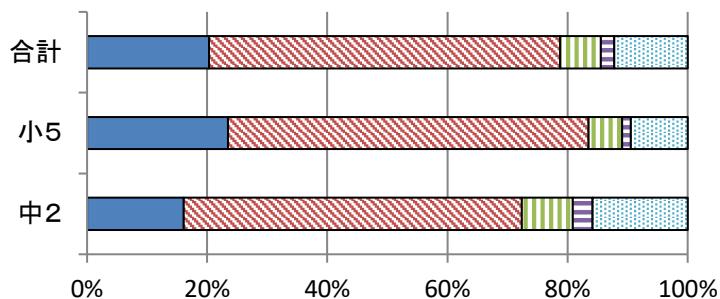
(7) いじめ・不登校対策、情報モラル指導



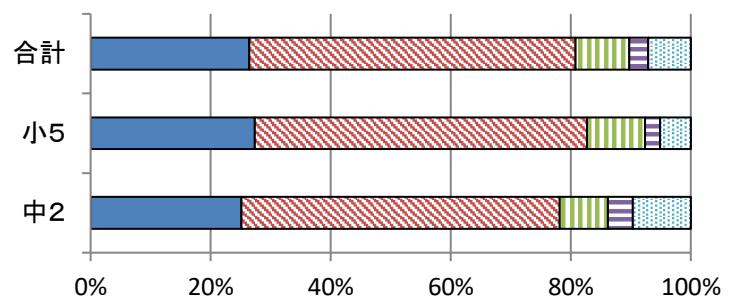
(8) 開かれた学校づくり



(9) 安心・安全な学校づくり



(10) 新型コロナウイルス感染症対策



◆学校教育活動に対して、「思いやりの心や豊かな心の育成、命の教育への取組」「安心・安全な学校づくり」の「大変満足」「やや満足」の回答率が約80%ありました。今後も小中学校において、自分も自分の周りの人も大切にできる子どもたち、自他の命を大切にできる子どもたち、自分で考えて行動できる子どもたちの育成を図るとともに、子どもたちが安心して学校生活を送ることができる学校づくりを進めていきます。

◆「新型コロナウイルス感染症対策」について、「大変満足」「やや満足」の回答率が80%以上でした。今後も感染拡大が心配されます。学校では、手洗い、換気など基本的な感染症対策はもとより、学校生活全般でできる限りの感染症対策を講じていくとともに、緊急時の際に対応できるようにタブレット等のICT機器を活用した学習の充実を図っていきます。